

U R U S H I - JAPAN-III

美と技の結晶

伝統アートの世界



「巣立」輪島 張間麻佐緒 作

日本の美と技の最高峰

漆額展



Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

◎ 緑ヶ丘美術館・新春企画 日本の〈漆〉展-III 漆芸額
伝統を美に集約した技の競演

2020年 1月8日(水)～3月1日(日)まで

【開館日】水・木・土・日曜日 11:00～16:00 (入館は15:30まで) 【休館日】月・火・金曜日

◎ 入場無料 / [会場]：緑ヶ丘美術館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

• URL : <http://mam-museum.com> <お問い合わせは FAX で : FAX 0743-85-7880>

JAPANESE ART - III

Japanese Lacquer Art Exhibition, 2020
Midorigaoka Art Museum
January 8th → March 1st, 2020

美と技の結晶 伝統アートの世界

日本の美と技の最高峰 <漆芸>

世界最古の漆は、はるか昔、縄文時代からとされています。約12600年前から使っていた漆。土器や碗、弓や武具、櫛や腕輪など、用途は多岐にわたっています。以来、時を経て、日本人は日常から祭祀まで、高級な美術品へと独特な感性と技法で漆製品を進化させてきました。

漆の作品は様々なものがありますが今回は「漆額」をご紹介します。
「漆額（うるしがく）」は、漆芸の技術をアートとして集約させた作品です。

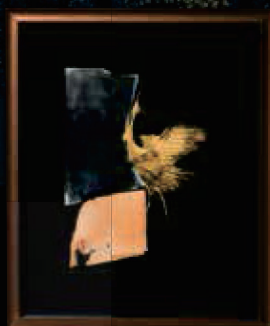
漆で魅せる伝統の技の数々

美しさを追求した技法を漆のカンバスに映し出す「加飾（かしよく）」
精妙に彫り、金・銀の箔や粉で描く「沈金（ちんきん）」
金や銀の光沢で華やかな美しさを表す「蒔絵（まきえ）」
貝殻の内側を使い作品に宝石のような美しさを嵌め込む「螺鈿（らでん）」
細かい卵の殻をパズルのようになん個ずつ貼り立体的な美を描く「卵殻（らんかく）」
漆で魅せる技の数々で伝統の美を表現します。

今回は漆芸の技法の最高峰である輪島、会津、讃岐の「漆額」を展示いたします。
躍動する鶴や孔雀や蝶。風に揺れる樹々。動きのある景色や生き物の一瞬の美。神秘的な生き物を額の中に美しい状態で留める、凜とした静寂の美は観る者の心を惹きつけます。
この展示では、伝統アート「漆額」を作家ごとにご紹介します。
それぞれの作家の想いを読みとってみてください。
日本ならではの伝統を美に集約した技の競演を是非ご高覧ください。



「飛翔」輪島 角野岩次 作



「鶴」輪島 角偉三郎 作



「梟之図」輪島 一后一兆 作



「映」輪島 小森克己 作



「花之句」輪島 角偉三郎 作



「孔雀」輪島 三谷吾一 作

日本の美と技の最高峰

漆額展

◎ 緑ヶ丘美術館・新春企画 伝統を美に集約した技の競演 日本の〈漆〉展-III 漆芸額

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

▼ アクセス:美術館には駐車場がございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

◎ 公共交通機関:〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または〈近鉄生駒線〉〈近鉄奈良線〉で『生駒駅』下車。
生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通バス『中菜畑二丁目行き』バス乗車→『新旭ヶ丘バス停』下車、徒歩すぐ。

